

## 地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

第三號

(24)

戸畑鑄鋼工場ニ就テ

一 移轉拡充理由

一 現在ノ尾倉鑄造工場ニアリテハ主トシテ銑鉄鑄物ヲナシ鑄鋼ノ鑄造能力トシテハ最大三五吨程度ノモノニシテ所内第二厚板工場用粗ロールノ素材(一ニ三吨)ノ供給ハ不可能ナルヲ以テ從來之ヲ海軍工廠ニ製作註文セシ所ナルモ時局ノ爲近來製作註文スルコトヲ得サルニ至レリ

二 仍テ自給自足ノ外ナキヲ以テ茲ニ一歩ヲ進メ弊社内各作業所用鑄鋼及鍛造ロールノ全部ヲ將來ニ亘リ供給セントスルモノニシテ平炉五。吨ニ基。ニ五吨一基。並ニ電氣炉一。吨及

ニ 生産目標

當分 月 二五。〇。吨 年 三〇。〇。〇。吨  
 將來 月 四。八。吨 年 四九。〇。〇。吨

日本製鐵株式會社

三 將來ニ於ケル各種ロール使用見込量尤ノ如シ

作業所	現在使用量	將來使用見込量
八幡	一四、七一。二。吨	二〇、四〇。〇。吨
輪西	—	三、二五。〇
釜石	六九。八	一、四五。〇
富士	八七	九。〇
大坂	三七。三	三、八。〇
広畑	—	三、二五。〇
兼浦	三四。一	三五。〇
計	一六、二一。一	二九、一七。〇

鑄鋼工場移轉拡充豫算

名	稱	員	數	金	額
鑄鋼工場移轉拡充				五、〇五三、八一八	円
架空走行起重機		一	四台	九七九、一〇〇	
原料装入起重機		一	"	四四、四〇〇	
砂吹機		一	"	三、三〇〇	
送風機		一	"	一〇、二〇〇	
空氣壓縮機		一	"	七一、五〇〇	
研磨盤		二	"	二、〇〇〇	
電気ホイス		二	"	四、二〇〇	
鑄造用機械用電動機		八	"	一一、四五〇	
二五瓩平炉		一	"	三七六、九〇〇	
五〇瓩平炉		二	"	一、三五三、八〇〇	
乾燥炉		六	"	二二二、六四〇	
燒鈍炉		六	"	二〇七、八五八	
ガス発生炉移轉		一	基	四四、〇〇〇	
一〇瓩電気炉		一	"	二〇〇、〇〇〇	
三瓩電気炉		一	"	六〇、〇〇〇	
鑄造用機械移轉		一	台	九九〇	
鑄入ピット		二	箇所	一五九、〇〇〇	
建物		一	式	一、二〇七、八八〇	
鐵道		一	式	二八、二〇〇	
鐵道		一	式	八、四〇〇	
電気配線、給水排水、蒸気及水管布設		一	式	五〇、〇〇〇	
鐵側車		五	輛	一、八〇〇	

日本製鐵株式會社

戸畑製鐵造工場ニ就テ

一、新設ノ理由

弊社各作業所用鍛鋼ロール、全部及各種大物鍛造品、全部ヲ供給セントス

二、生産目標

三〇〇〇 吨 水圧プレス 月 四〇〇 吨 年 四八〇〇 吨 普通鍛造品  
 六〇〇〇 吨 水圧プレス 月 一五〇 吨 年 一八〇〇 吨 特殊鍛造品

計

五五〇 吨 六六〇 吨

三、設備

(一) 六〇〇 吨 水圧プレス 一台ヲ新設 (但外輪工場ニテ購入スルモノヲ借用ノ予定) 及 三〇〇 吨 水圧プレス 一台ヲ新設ス

(二) 前記 六〇〇 吨 水圧プレス 用水圧ポンプ及壓縮空氣 アキムレーターヲ新設ス

(三) 加熱炉 六基 燒鈍炉 三基ヲ新設ス

日本製鐵株式會社

(四) 架空走行起重機 一〇 吨 四 吨 各 一台ニ 吨 二台ヲ新設ス

(五) 鋼塊及鍛造品切断用トミテ切断鋸 一台ヲ新設ス

(六) 銅塊ノ孔明作業及鍛造品ノ中カリ作業、クレーン中カリ盤各

一台ヲ新設ス

四、豫算額 三〇、五三、一三三 円

内訳

計	工事費	機械代	十四期	十五期	十六期	十七期	計
八九一九五	二八〇五〇	七七三九〇					
二五三三〇	三三三三〇	〇					
一七〇、二二五	三六、〇七五	二八、四二〇					
一三三、七九八	一四、二八八	一〇、九四九					
三〇、五三、一三三	九〇、一三三	二五、三〇〇					

鍛造工場新設豫算書

名 稱	員 数	全 額
鍛造工場新設	四 台	三〇、五三、一三 円
架空走行起重機	一 台	四二、六七、〇〇
フレックス	一 台	八七、〇〇、〇〇
水压ポンプ	一 台	四二、〇〇、〇〇
圧縮空気アモスター	一 式	三〇、〇〇、〇〇
中割り盤新設	二 台	一八、一八、〇〇
銅塊鋸断機	一 台	五、七〇、〇〇
加熱	六 基	一、三四、八八
焼鈍炉新設	三 基	七、七一、〇五
建物	一 式	五、九三、一二
鐵道布	七、六〇、末	一、八〇、〇〇
道路舗装	三、九〇、末	五、八五、〇〇
電気配線、給水排水、蒸気及瓦斯管布設	一 式	三〇、〇〇、〇〇

日本製鐵株式會社